

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 34-1

問1)

当社は企業価値最大化を目指すいわゆる株主価値経営に取り組んでいる。翌期から始まる第五次中期経営計画をもとに、当期末の企業価値を算定する。

【資料】

1. 第五次中期経営計画書

第五次中期経営計画					2022年11月30日
社外秘	取締役社長	財務取締役	常務取締役	財務部長	
	八田	井崎	中川	油嶋	
【損益計算書】 (単位:百万円)	当期(第14期)見込	第15期	第16期	第17期	
売上高	10,000	11,000	11,500	12,000	
売上原価	8,000	8,250	8,625	8,640	
売上総利益	2,000	2,750	2,875	3,360	
販売費及び一般管理費	1,200	1,550	1,625	2,100	
営業利益	800	1,200	1,250	1,260	
営業外収益	10	0	0	0	
営業外費用(※)	30	20	10	10	
経常利益	780	1,180	1,240	1,250	
特別利益	60	0	0	0	
特別損失	0	0	0	0	
税引前利益	840	1,180	1,240	1,250	
法人税等	252	354	372	375	
税引後利益	588	826	868	875	
上記のうち、減価償却費	200	180	160	140	

※ 各期の営業外費用のすべては支払利息である。

2. 中期経営計画における予測期間を超えたフリーキャッシュフローは、第17期のフリーキャッシュフローの半額が永続すると仮定する。
 3. 将来において、必要運転資本の増加及び設備投資は予測されていない。
 4. 法人税率は30%、税引後加重平均資本コストは1%である。

【問1】 中期経営計画における第15期から第17期までの各期のフリーキャッシュフローを求めなさい（百万円未満の端数が生じる場合は、最終数値で四捨五入すること。以下、同様。）。

【問2】 第18期以降のフリーキャッシュフローのターミナルバリューを求めなさい。

【問3】 第15期から第17期までのフリーキャッシュフローの現在価値と問2で求めたターミナルバリューの現在価値を合計して、企業価値を算定しなさい。

【問4】 当期末における負債額は40,269百万円である。そこで、株式価値を求めなさい。

解1)

【問1】	(単位:百万円)	第15期	第16期	第17期
	フリーキャッシュフロー			

【問2】	(単位:百万円)	
	ターミナルバリュー	

【問3】	(単位:百万円)	
	企業価値	

【問4】	(単位:百万円)	
	株式価値	